

## 市民生活を支え、飛躍する1年に

皆さま、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

2026（令和8）年が始まりました。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと思います。私の年明けは、北区にある日進神社の「日進餅つき踊り」とともに迎えました。

今年も、物価高の影響を受けている市民や事業者の皆さまを支えていくことが、目下の重要課題です。補正予算に基づく施策を着実かつ迅速に実行してまいります。災害に強い都市づくりへの取り組みも、市民の皆さまの安心・安全を確保していく上で大変重要であり、対策をしっかりと進めます。

2026年はさいたま市が誕生してから25周年の節目の年です。これまで歩んできた四半世紀の歴史や先人たちの知恵に敬意を払い学びを得つつ、本市の強みをさらに伸ばし、「選ばれる都市」を目指してひた走る1年にしてまいります。



### 【プロフィール】

昭和37年3月25日生まれ  
平成21年5月～さいたま市長  
現在5期目。ほかに指定都市市長会副会長、さいたま市社会福祉協議会会長、日本サッカーを応援する自治体連盟会長など  
趣味はマラソン、手話ダンス、茶道  
ラーメン、スイーツが大好き  
座右の銘は「素志貫徹」



## 物価高対策 水道基本料4カ月無償、デジタル商品券を発行

昨年の市議会12月定例会で可決された追加補正予算に基づき、本市独自の物価高対策・生活支援として

- 水道料金の基本料金を4カ月無償
- 50%プレミアム付きデジタル商品券の発行

を実施します。

水道料金の減額は一般のご家庭と入所系福祉施設を対象に、基本料金を来年4月検針分から無償とします。また、「さいたま市みんなのアプリ」を活用したデジタル商品券は、1セット5000円で7500円分の利用が可能です。80万セットを用意し、購入上限は最大4セット。来年2月からの販売を予定しています。

そのほか、子育て世帯への応援手当や福祉・医療施設への給付、中小企業・農業者への支援など、市民の皆さまの家計負担の軽減策とともに、事業者の皆さまへの支援に取り組んでまいります。